

特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟

2020年度 第3回理事会

議事録

日時：2020年11月14日（土）13：00～15：00

場所：リモート開催

出席者：椎名茂、古市隆一、隅野礼雄、大日方邦子、二星謙一、渡辺孝次、荒井秀樹、夏目堅司、中村実彦、山口聖子、小林清美、桜本利幸、東海林志朗、井上真司、辻村和見、高浜成行、田原麗衣、小林（井口）深雪、鹿島（吉龍）忍（19名）

委任出席者：安藤佳代子、保科実、鈴木久三郎、狩野亮、岩間秀子、内海けい（6名）

欠席者：中村勝彦、新田佳浩（2名）

出席監事：宮田隆司（1名）

欠席監事：大内悟（1名）

椎名会長より定足数の確認がなされ、27名中出席25名（委任状出席を含め）であり、定足数を満たし本会は成立するとの発言がなされた。議事録署名人には、古市理事、隅野理事が指名され了承された。書記には、事務局の石丸が指名された。

椎名会長より次第の確認がなされ、定款の則り議長は会長が行うことが確認され会議が開始された。

【審議事項】

（1）連盟の新体制について

椎名：連盟の新体制一覧を作成しました。

5つのポイントに沿って考えた新体制です。

- ① 委員会の数も増えており理事の一人一人が動かないと運営出来ない状況にあるため皆さんにそれぞれ役割を果たしてもらいた。
- ② 強化本部体制が成功したので、組織構成としては委員会をそれぞれ本部の傘下に置く本部制にしました。
- ③ ワールドカップやアジアカップ等の競技大会を組織的に運営することが重要なので、強化事業なのか普及事業なのかのすみ分けから始めるのではなく、新しい本部を設置して、今後は大会運営に関するノウハウを蓄積してゆきたい。
- ④ VIに関するWGを設置しました。将来的にはVIチームをパラリンピックやワールドカップに出場出来るようにしたいので、どこから手を付けたらいいのか、どのような活動をすべきなのかを検討してもらいたい。
- ⑤ ダイバーシティ委員会を作りました。今までは女性委員会の名称でしたが、女性に限らず広い分野の方々に活躍してもらおうことが目的です。

新体制図を示し、5本部と傘下の委員会についての説明がありました。

理事会では、本部長・副本部長・委員長・副委員長の選任について審議してもらいたい。委員会の委員については、委員長と副委員長で相談して決めてほしい。

役員の役職については、古市さんを副会長兼専務理事に、保科さんを常務理事に、常任理事には各本部長とパラ競技3チームの委員長にお願いしたい。

議長：新体制の本部長・副本部長・委員長・副委員長の選任並びに役員の役職について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(2) スノーボードチームの次世代育成選手の認定について

二星：10月に次世代育成選手の選考を行いました。実地とWEB選考に6人の応募がありました。資料に記載した通りその中で5人の選手を次世代育成選手としてスノーボード委員会から推薦します。(応募はホームページを見たことその他、選手やスタッフとの繋がりによるものです)

議長：スノーボード委員会から推薦された5名の次世代育成選手認定について承認を求めたところ全員一致で承認された。

(3) 14日間の待機期間の自粛要請の遵守違反についての規程について

大日方：海外遠征から戻った際の、14日間の自粛期間についての緩和措置を受けるためには、受け入れ団体で違反行為に対しての罰則規定を作成することが求められています。海外遠征を予定していたスノーボードチームでたたき台として作成したものが新たな規程です。

議長：新しく作成した規程について、今後適宜追加変更して内容を充実させることも含め承認を求めたところ全員一致で承認された。

(4) 役員への諸謝金等の支払いについて

石丸：役員への諸謝金等の支払いについての理事会承認の必要性を説明した。

椎名：役員への諸謝金等の支払いについて承認を求めたところ、全員一致で承認された。

【報告事項】

(1) 中長期計画作成の役割分担について

椎名：中長期計画として作成したものを皆さんの力を借りて、内容を充実させたいと考えています。私から本部長や委員長の方々に担当してもらいたい項目を示すので、担当部門の中長期計画を作成してもらいたい。出来上がったものは、ホームページにも掲載しますので、実行可能なものにしてください。

(2) 国内開催予定の国際大会の実施について

椎名：担当の保科さんが欠席のため代わりに経過を説明します。3月の札幌のクロスカントリーワールドカップは開催する方向で動いていますが、東京オリパラ開催への影響があるため、万全の準備をして開催するように計画しています。コロナ感染状況によっては、今後ワールドカップから規模を縮小してアジアカップまたは国内大会として開催することも検討しています。

大日方：アルペンのアジアカップは当初2月に開催予定でしたが、世界選手権から帰国後14日の自粛期間と重なるため、4月に野沢温泉スキー場で開催することになりそうです。

渡辺：ワールドカップでなくてもポイントレースになるようにして開催したい。

(3) 海外遠征の予定変更について

大日方：今日、オーストリアへ出発して合宿と大会の予定であったが、オーストリアの感染拡大で遠征は中止にしました。12月上旬のサンモリッツ大会は実施予定だが、1月18日までにエントリーするか判断します。世界選手権・北京プレ大会・1月のワールドカップ開催については、12月にIPCが開催可否の判断を行います。IDアルペンは国際大会がなくなったので、パラアルペンと一緒に国内大会を実施したいと考えています。

渡辺：パラノルディックチームは年内の海外遠征は取りやめました。

国内での合宿に切り替えました。1月18日からスウェーデン→ノルウェー、一旦戻ってきてから北京→札幌のスケジュールです。

IDチームは1月の全日本、2月のスノーフェスタ、3月の札幌ワールドカップに出場の予定です。

二星：11月22日からフィンランド合宿・ワールドカップの予定でしたが、雪不足で延期になりました。世界選手権と北京プレ大会を今年はメインの大会として考えていますが、12月初旬に開催可否が決定される予定です。

(4) 適合性審査について

石丸：10月28日に日本障がい者スポーツ協会に審査書類を提出したことを報告した。ヒアリングは12月1日に予定されています。

(5) 札幌大通公園クロスカントリースキー大会について

荒井：「さっぽろウインターパーク」について資料に沿って説明がありました。札幌雪まつり期間中に大通公園でクロスカントリースキーのイベントを開催する予定です。

(6) 新型コロナウイルス感染防止対策指針について

石丸：普及事業を行うに際しての感染防止対策の指針を普及委員会で作成しました。大会・講習会の要項に記載するためのベースになるように作成したもので、ガイドラインとして広く周知するためのものではないことの報告を行った。

【その他】

(1) 役員プロフィールの更新について

石丸：配布した資料に記載されている各自のプロフィールの更新をお願いした。今日参加されていない役員にはメールでお願いすることを伝えた。

(2) 各自自己紹介

椎名：新体制になって初めての理事会なので、各自自己紹介を含めて挨拶をしてもらいます。

椎名会長の指名で、参加した役員が、一人ずつ自己紹介と挨拶を行った。

議長：以上で全ての審議・報告等の議事が終了したので閉会します。

議事録署名人

議長 椎名 茂

議事録署名人 古市 隆一

議事録署名人 隅野 礼雄